



平成 19 年 9 月 12 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 テ イ ツ ー
 代表者の役職名 代表取締役社長 大橋 康宏
 (J A S D A Q ・ コード 7 6 1 0)
 問い合わせ先 取締役 C F O 片山 靖浩
 電 話 番 号 0 3 - 5 4 0 8 - 5 5 3 2

平成 20 年 2 月期中間（単体・連結）業績予想との差異、特別損失の発生
 及び通期（単体・連結）業績予想の修正に関するお知らせ

平成 20 年 2 月期（平成 19 年 3 月 1 日～平成 20 年 2 月 29 日）の業績予想について、平成 19 年 6 月 25 日付「平成 20 年 2 月期中間（連結・単体）業績予想修正及び通期（連結・単体）業績予想の修正、特別損失の可能性に関するお知らせ」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 20 年 2 月期連結業績予想の修正等

(1) 中間期（平成 19 年 3 月 1 日～平成 19 年 8 月 31 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回予想 (A)	2 1 , 6 5 0	5 4 0	1 8 0
今回修正 (B)	2 1 , 7 5 0	7 5 0	4 0 0
増減額 (B - A)	1 0 0	2 1 0	2 2 0
増減率	0 . 5 %	3 8 . 9 %	1 2 2 . 2 %

(2) 修正理由

中間連結売上高につきましては計画どおり推移したため、21,750百万円(前回予想比100百万円増)となる見込みであります。

中間連結経常利益につきましては、古本市場事業において利益率の高いリサイクル品を中心に売上を伸ばしたことや古本市場直営店およびアイ・カフェ直営店の出店予定の一部を下半期に先送りしたこと、修繕費等費用の一部の発生が下半期にずれることにより、750百万円(前回予想比210百万円増)となる見込みであります。

また、中間連結純利益につきましては、中間連結経常利益の増加に加え、固定資産減損が当初の見込みより少なかったことにより、400百万円(前回予想比220百万円増)となる見込みであります。

(3) 通期（平成 19 年 3 月 1 日～平成 20 年 2 月 29 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想 (A)	4 5 , 6 5 0	1 , 1 8 0	4 5 0
今回修正 (B)	4 5 , 0 0 0	1 , 2 0 0	5 5 0
増減額 (B - A)	6 5 0	2 0	1 0 0
増減率	1 . 4 %	1 . 7 %	2 2 . 2 %

(4) 修正理由

連結売上高につきましては、古本市場事業の直近の売上のトレンドを勘案し、リサイクル品売上の増加と新品売上の減少、アイ・カフェFC出店戦略の見直しによる出店減少見込みを反映した結果、45,000百万円(前回予想比650百万円減)となる見込みであります。

連結経常利益につきましては、古本市場直営店およびアイ・カフェ直営店の出店予定の一部を下半期に先送りしたこと、修繕費等一部の費用発生の下半期へのずれ込みや、内部統制関連対応費用の発生、アイ・カフェFC出店減少の影響などが見込まれるものの、上半期の好調により、1,200百万円(前回予想比20百万円増)となる見込みであります。

連結当期純利益につきましては、連結経常利益の増加により、550百万円(前回予想比100百万円増)となる見込みであります。

(5) ご参考：前期実績(平成18年3月1日～平成19年2月28日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期(3/1～8/31)	19,789	264	49
通期(3/1～2/28)	44,871	997	198

2. 平成20年2月期単体業績予想の修正等

(1) 中間期(平成19年3月1日～平成19年8月31日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想(A)	20,150	600	250
今回修正(B)	20,150	840	310
増減額(B-A)	0	240	60
増減率	0%	40.0%	24.0%

(2) 修正理由

中間単体売上高につきましては計画どおり推移したため、20,150百万円(前回予想と同額)となる見込みであります。

中間単体経常利益につきましては、利益率の高いリサイクル品を中心に売上を伸ばしたことや古本市場直営店の出店予定の一部を下半期に先送りしたこと、修繕費等一部の費用の発生が下半期にずれ込むことにより、840百万円(前回予想比240百万円増)となる見込みであります。

中間単体純利益につきましては、連結子会社である株式会社ユーブックの株式評価損等の特別損失の発生190百万円があったものの、中間単体経常利益の増加が特別損失を吸収し、310百万円(前回予想比60百万円増)となる見込みであります。

(3) 通期(平成19年3月1日～平成20年2月29日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	41,650	1,160	550
今回修正(B)	41,650	1,300	500
増減額(B-A)	0	140	50
増減率	0%	12.1%	9.1%

(4) 修正理由

単体売上高につきましては、古本市場事業の直近の売上のトレンドを勘案したりサイクル品売上の増加と新品売上の減少を反映したことにより、41,650百万円(前回予想と同額)となる見込みであります。

単体経常利益につきましては、古本市場直営店の出店予定の一部を下半期に先送りしたこと、修繕費等一部の費用の発生が下半期にずれること、内部統制関連対応費用の発生が見込まれることなどを反映するものの、上半期の好調により、当初予想を上回る1,300百万円(前回予想比140百万円増)となる見込みであります。

当期純利益につきましては、経常利益の増加はあるものの、連結子会社である株式会社ユーブックの株式評価損等の特別損失の発生190百万円があったため、500百万円(前回予想比50百万円減)となる見込みであります。

(5) ご参考：前期実績(平成18年3月1日～平成19年2月28日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期(3/1～8/31)	18,738	340	110
通期(3/1～2/28)	42,244	1,209	542

以 上